

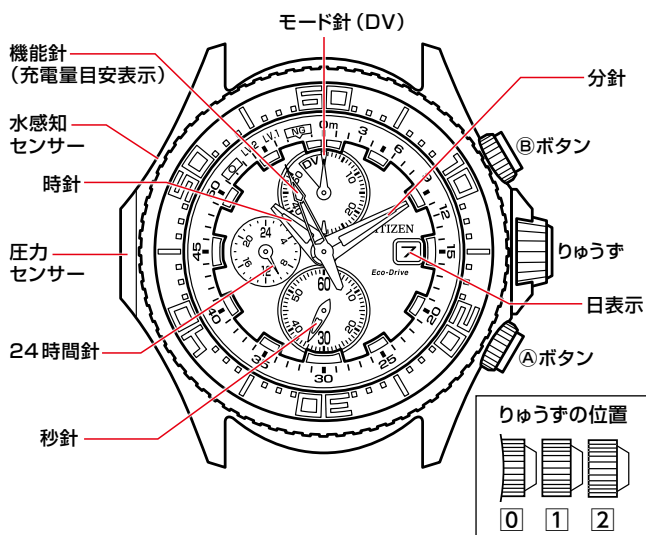
B740 簡易操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。



B740取扱説明書

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) も併せてご覧ください。
- ・ねじロックりゅうずの解除は、りゅうずが飛び出すまで左に回してください。
- ・操作後は、ねじロックりゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締めてください。

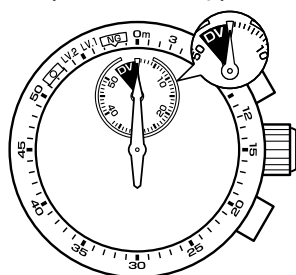
モードを切り替える

時刻モードとクロノグラフモードを切り替えます。

1. Aボタンを2秒間以上押す

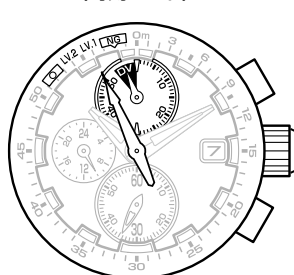
Aボタンを2秒間以上押すごとに、2つのモード間が切り替わります。

〈クロノグラフモード〉



機能針：0位置
モード針：0位置

〈時刻モード〉



機能針：充電量目安表示
モード針：DV位置

ダイビングモードへの切り替え

時刻モードで水感知センサーが濡れると、自動的にダイビングモードに切り替わります。

- ・機能針がNGを示している場合は、ダイビングモードに切り替わりません。

時刻を合わせる

1. 時刻モードになっていることを確認する

モード針がDVを指していることを確認します。



2. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を2にする

機能針が0秒位置を指します。

3. りゅうずを回して、時刻を合わせる

4. 時報に合わせて、りゅうずの位置を0にする

秒針が動き始めます。

日表示を合わせる

- ・時計が午後9時～午前1時を示しているときは、日表示合わせをさせていただきます。日表示が切り替わらなくなる場合があります。

1. りゅうずの位置を1にする

2. りゅうずを回して日表示を合わせる

3. りゅうずの位置を0にする

ダイビングモードを使う

1. 時刻モードになっていることを確認する

モード針がDVを指していることを確認します。

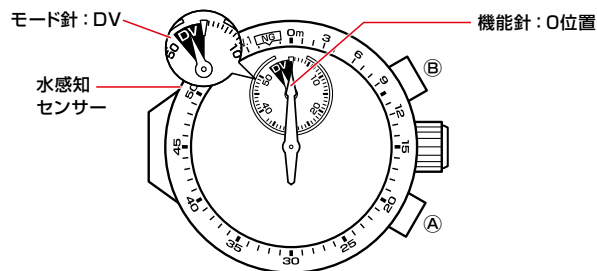


2. 水感知センサーを水に付ける

水感知センサーが水を検知すると、自動的にダイビングモード（準備状態）に切り替わり、機能針が0m位置に移動します。

- ・充電が不足していると、ダイビングモードに切り替わりません。十分に充電してください。
- ・ダイビングモード（準備状態）で水深1m以上に1度も潜水せず、約1時間以上経過すると、機能針がオーバーゾーン表示をします。このような場合は、水感知センサー部をよく洗浄した後、水分を完全に拭き取り乾燥させます。水感知センサーが解除されると、通常の表示に戻ります。

〈ダイビングモード〉（準備状態）



3. 水深 1m 以上に潜る

機能針が動き、現在の水深を示します。

- 水深が 1m 未満のときは、機能針は 0m を示します。
- 水深が 50m を超えると、機能針はオーバーゾーンマーク (52 秒位置) で停止し、水深表示範囲を超えたことを示します。再び 50m よりも浅い水深に浮上すると、現在水深表示に戻ります。

4. ダイビングモードを終了する

ダイビング終了後、水深 1m 未満で約 10 分間経過すると、自動で時刻モードに戻ります。

- 10 分以内に再度水深 1m 以上に潜った場合は、潜水の継続とみなし水深計測は継続されます。
- 水深 1m 未満で A ボタンを 2 秒間以上押し続けると、ダイビングモードを終了し、時刻モードに戻ります。

最大深度メモを使う

最新のダイビングでの最大深度を表示します。

1. 時刻モード、ダイビングモード（準備状態）で、B ボタンを押す

機能針が最大深度メモを表示します。

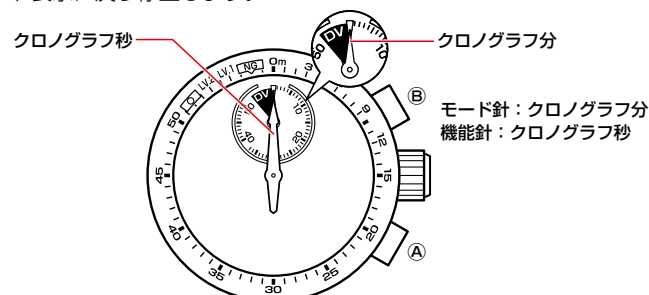
2. B ボタンを押してメモ表示を終了する

ボタンを押さなくても 30 秒間経過すると、メモ表示は自動的に終了します。

- 最大深度メモは、次の潜水を開始するまで記憶されます。
- 最大深度が 1m 未満の場合は、最大深度メモは記憶されません。
- 最大深度が 50m 以上の場合は、最大深度メモはオーバーゾーンとして記憶されます。

クロノグラフを使う

1 秒単位、最大 50 分まで計測できます。50 分計測終了後は、リセット表示に戻り停止します。



1. 時刻モードで A ボタンを 2 秒間以上押す

機能針とモード針が 0 位置に早送りして停止します。

スタート/ストップ: B ボタンを押します。

リセット: ストップ中に A ボタンを押します。

- クロノグラフ計測中はモードの切り替えはできません。
- クロノグラフストップ中にモードを切り替えると、計測値はリセットされます。
- リセット表示で約 3 分間経過すると時刻モードに戻ります。

機能針の 0 位置を合わせる

機能針が 0 秒位置にもどらない場合や、強い衝撃等で機能針の位置がずれた場合に、この操作を行ってください。

- この操作で機能針を修正できる範囲は 0 位置を中心に左右 15 目盛以内です。それ以上合っていない場合は「オールリセットと針の 0 位置修正を行う」を行ってください。

1. リゅうずの位置を 2 にする

A ボタン、B ボタンを押して、機能針を 0 秒位置に合わせます。

- 0 位置を中心に機能針が右側にあるときは A ボタン、左側にあるときは B ボタンを押して合わせます。

2. リゅうずの位置を 0 にする

オールリセットと針の 0 位置修正を行う

1. リゅうずの位置を 2 にする

2. A ボタンと B ボタンを同時に押す

機能針がわずかに動いて、オールリセットが完了します。

3. A ボタン、B ボタンを押して、機能針とモード針を 0 秒位置に合わせます。

- 0 位置を中心に機能針が右側にあるときは A ボタン、左側にあるときは B ボタンを押して合わせます。
- 二つの針は連動して修正されます。両方のボタンとも押しつづけると早送りできます。

4. リゅうずを回して、時刻を合わせる

5. 時報に合わせて、リゅうずの位置を 1 にする

秒針が動き始めます。